**住高１８期　岩佐倫太郎(美術評論家) さんの****美術講演会**

住高百周年のスローガン「飛躍年にしよう！」をつくった、住高１８期で美術評論家の岩佐倫太郎さん。大学を出て広告代理店で「キッズプラザ大阪」（子供の博物館）のプロデューサーを務め、２５年で１千万人の集客に成功しました。そのあとハウステンボスの経営コンサルタントなどを経て、現在は美術評論家として、切れ味のいい評論と普及活動を行い、多くの美術ファンを持っています。

その岩佐さんが、コロナで休んでいた美術講演会を、2年ぶりに再開されます。講演会はいつも新鮮な刺激に満ちてエキサイティングです。

今度の会場は大阪大学中之島センターで、６月９日（日）の午後。テーマは**「広重からモネ・ゴッホへ」**。

　 広重《名所江戸百景　亀戸天神境内》モネ《睡蓮と日本の橋》１８９９プリンストン大学

岩佐さんは、浮世絵がヨーロッパに流出して、モネなど印象派を生んだ歴史！を、もっと多くの日本人に知ってもらいたいと、使命感をもって活動されています。また、美術史のこの部分を理解すれば、海外旅行や企画展に出かけたときの絵の見方が、もっと深く豊かになる、とも語っています。ご関心のあるOBOGの皆さまは、ぜひ足をお運びください。

　美術講演会の概要

■とき　　　６月９日（日）　１４：３０～１６：２０

■ところ　　大阪大学中之島センター１０F　佐治敬三メモリアルホール

■会費　　　3,800円（振り込み制）

■主催　　　大阪大学理学部数学科同窓会　（協賛/民間企業６社）

誰でも参加できます。お申込み・問い合わせは、

講演会事務局iwasarintaro.jimukyoku＠gmail.com

　　　　　　　 